

コカ・コーラ(KO)

【セクター】 飲料

【市場】 NYSE

【企業概要】

ノンアルコール飲料の世界最大メーカーです。500種以上の炭酸飲料、ダイエット炭酸飲料、果汁飲料、紅茶、コーヒー、水、スポーツ飲料を擁し、主力ブランドに「コカ・コーラ」、「ダイエット・コーク」、「パワー・エイド」、「ダサニ」、「ミニッツ・メイド」があります。飲料カテゴリーの世界シェアは、炭酸飲料でトップの45.8%、スポーツ・エネルギー飲料でペプシに次ぐ2位の13.7%、ボトルウォーターで3位の5.5%、缶コーヒーでトップの13.4%です（17年）。18年8月に英国の「COSTA」を51億ドルで買収、コーヒーショップへの初進出が注目されます。

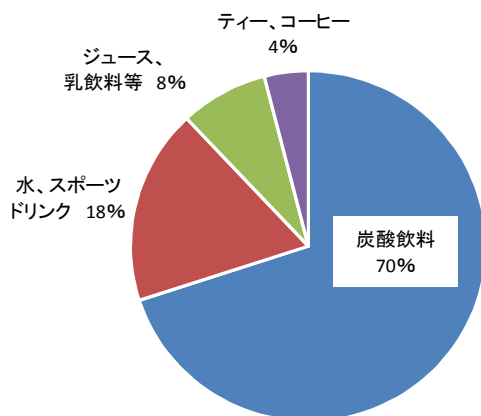
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	35,410	9,188	2.13	1.48	4.0	45.8	21.6
18年12月期	31,856	9,049	2.12	1.56	4.0	53.1	22.9
19年12月期予想	34,756	9,032	2.10	1.59	4.4	49.7	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 カテゴリー別売上構成比（17年12月期、数量ベース）



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

図表2 飲料カテゴリーの世界成長率（数量ベース）

	15年	16年	17年
炭酸飲料	0%	-1%	-1%
水、スポーツドリンク	7%	6%	1%
ジュース、乳飲料等	1%	-1%	0%
ティー、コーヒー	4%	3%	2%

（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

会社は成長が鈍い「炭酸飲料」への依存度を下げて成長がより高い「水」や「ティー、コーヒー」分野の売上構成を引き上げ、また、ボトリング事業の再編を進めることで、売上成長率と利益率を高めようとしており、今後はその成果が期待されます。ビッグデータの分析による売れ筋商品への絞り込みが奏功していると見られ、オーガニックの売上成長率は18年10-12月期に前年同期比5%増、19年1-3月期に同6%増と好調です。

【見通し・注目点】

19年12月期のガイダンスは、オーガニックの売上成長が約4%、買収事業の上積みにより為替の影響を除いた売上は前年比12~13%増、営業利益は同10~11%増（買収による一桁台前半の押し上げを含む）、為替の影響を含むEPSが同1%減~1%増としています。成長率の低下が続いたことから、同社の株価は主に配当利回りが基準になって動いてきたと見られます。一方、EPSを引き上げることで、配当利回りではなくPERで評価されるようになる分岐がいつ到達するか注目されます。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 19/5/29）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。